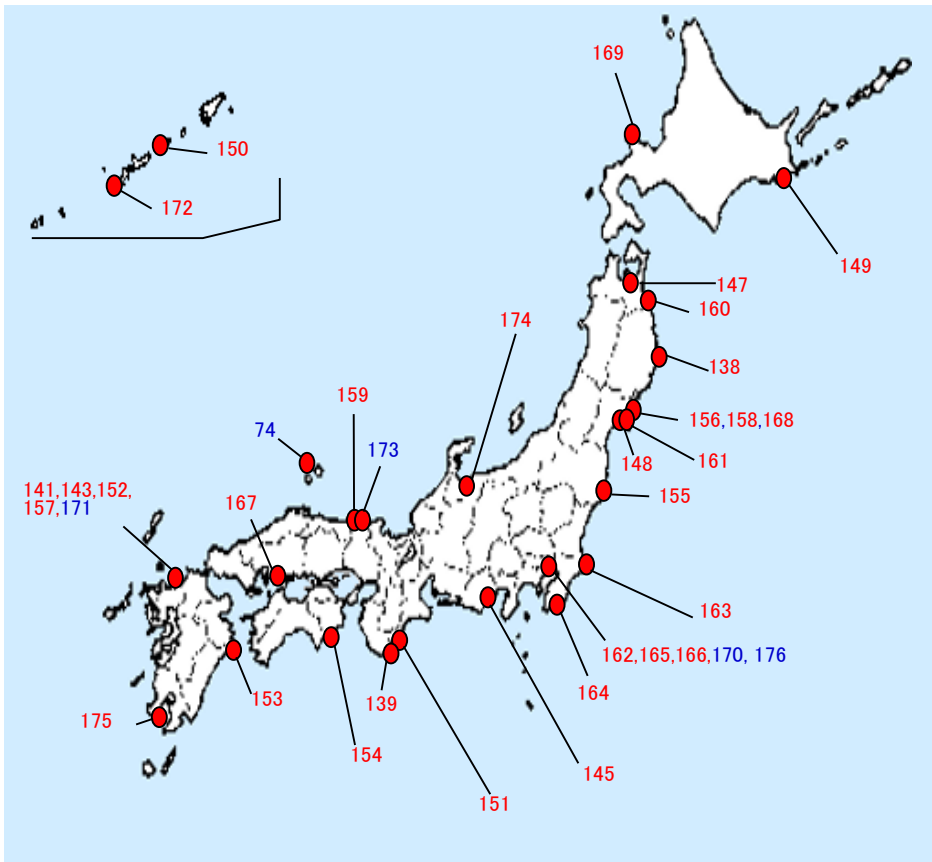


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業中・実証予定の計画— (令和2年4月1日現在)



- 147 遠洋まぐろ延縄(八戸): プーム式荷役装置を搭載した改革型漁船の導入、転載による効率化等<H30.7~R3.6 改革型>
- 148 遠洋かつお一本釣り(塩釜): 改革型漁船の導入、新製品の生産、タスマン漁場の再開等<H30.3~R3.2 改革型>
- 149 全国さんま棒受網(落石): 省エネ・省コスト型漁船の導入、フィッシュポンプによる省人化等<H29.9~R2.9 改革型>
- 150 与論(ソデイカ旗流し): 改革型漁船の導入、ソデイカ下足の新鮮度出荷、ブランド化等<H29.9~R2.8 改革型>
- 151 尾鷲(大型定置): 改革型漁船及び改革型漁網の導入、一艘起こしへの操業転換及び網交換作業の効率化等<H29.10~R2.10 改革型>
- 152 遠旋組合⑨(大中まき): 改革型漁船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、運搬船の共同利用等<H30.4~R3.3 改革型>
- 153 北浦(中まき②): 改革型網船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、網船冷海水魚艙による鮮度保持等<H30.4~R3.3 改革型>
- 154 野根(大型定置): 改革型漁船及び改革型漁網の導入、周年操業化による生産性向上等<H30.2~R3.1 改革型>
- 155 いわき(遠洋まぐろ延縄): 経営体統合、大型改革船及び省エネ型改革船の導入による船団操業の効率化等<H31.4~R4.5 改革型>
- 156 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑥): 省エネ・労働環境改善型漁船の導入、航海計画の最適化等<R2.3~R5.2 改革型>
- 157 遠旋組合⑩(大中まき): ミニ船団化(5隻→3隻)、スラリーアイスと冷海水の併用による鮮度保持等<H31.4~R4.4 改革型>
- 158 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑦): 改革型漁船の導入による省エネ運航、縦型コンベアの設置による餌料作業の大幅な省力化等<R1.7~R4.6 改革型>
- 159 浜坂(沖底②): 改革型沖底・いか釣り兼業船の導入、船上凍結による漁獲物の高品質化等<H30.9~R3.9 改革型>
- 160 青森県八戸(大型定置): 改革型漁船及び改革型漁網の導入、季節網の採用による安定生産体制の確立等<H30.10~R3.9 改革型>
- 161 北まき・石巻②(大中まき): 改革型運搬船の導入による漁獲物の新鮮度化、石巻への水揚げの増加等<H31.4~R4.3 改革型>
- 162 海外まき網(海まき③): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、搭載ヘリコプターを用いた素群れ操業等<R1.11~ 共通仕様>
- 163 北まき・鏡子(大中まき): 改革型網船の導入、船団縮小(3隻→2隻)、魚艙内温度管理システムによる鮮度保持等<R1.6~R4.5 改革型>
- 164 千葉県東安房(大型定置): 改革型漁船の導入による船団縮小(6隻→4隻)、改革型漁網による周年操業化等<H31.4~R4.3 改革型>
- 165 遠洋まぐろ延縄: 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、高速ブロードバンド衛星通信システムの導入等<R1.9~ 共通仕様>
- 166 全国さんま棒受網: 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、公海操業に対応した冷凍・冷蔵能力の向上等<R1.8~ 共通仕様>
- 167 広島県ニジマス養殖: 海面と内水面が連携した海面2回出し生産による新たな養殖システムの構築等<H31.1~R3.12 改革型>
- 168 近海まぐろ延縄(気仙沼): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、複数隻の連携強化による操業の効率化等<R1.12~ 共通仕様>
- 169 積丹(大型定置): 改革型漁船及び改革型漁網の導入、ブリの付加価値向上等<R1.9~R4.8 改革型>
- 170 全国遠洋まぐろ(遠洋まぐろ延縄): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、漁獲物の取込・冷凍作業の省力化等<共通仕様>
- 171 遠旋組合(大中まき): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、松浦地区でのバリューチェーン全体の生産性向上等<共通仕様>
- 172 糸満(ソデイカ旗流し等): 改革型漁船の導入、急速冷凍装置の導入による操業の効率化、未利用・低利用資源の活用等<R2.1~R4.12 改革型>
- 173 兵庫県但馬(沖底): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、船上凍結による漁獲物の高付加価値化等<共通仕様>
- 174 全国遠洋まぐろ(富山②): 省エネ機器の導入、長期航海の見直し、省力化機器の導入<R2.2~R4.1 マイルド>
- 175 枕崎・気仙沼(遠洋かつお一本釣り): 燃油使用量10%削減、4隻の分散水揚、ブライン増産による収益向上等<R2.4~R4.3 マイルド>
- 176 遠洋かつお・まぐろ(遠洋かつお一本釣り): 燃油使用量10%削減、AI漁場予測、海外市場開拓等<マイルド>

- 74 福岐(中まき): 燃油消費量の削減、適量漁獲と活〆処理等<改革型>
- 138 宮古・釜石(沖底): 省エネ型漁船の導入、トロールセンサーシステム導入等による省コスト化<H30.2~R3.1 改革型>
- 139 太地町(大型定置): 省エネ・省力型漁労機器搭載の改革型漁船の導入等による省コスト化<H29.10~R2.10 改革型>
- 141 遠旋組合⑦(大中まき): 改革型運搬船による養殖用種苗の洋上販売、船団縮小(5隻→4隻)等<H29.9~R2.9 改革型>
- 143 遠旋組合⑧(大中まき): 改革型運搬船の導入、フィッシュポンプの活用、水使用量の削減、船団縮小等(9隻→8隻)<H29.9~R2.8 改革型>
- 145 遠洋かつお一本釣り(焼津③): S-1カツオの増産、499トン型基本船型の開発・導入<H29.12~R2.12 改革型>
(全体計画)
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画): 燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等

認定改革計画 176件: 実証事業中 32件(全体計画1件含む)、実証予定 5件、実証事業終了139件(がんばる漁業への移行11件含む)

(注1) 赤数字: 実証中の計画、青数字: 実証予定の計画 (注2) 計画名は、地域プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載 (注3) 計画概要及び地図はがんばる漁業へ移行した11件を除く。

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 ―実証事業を終了した計画①―（令和2年4月1日現在）

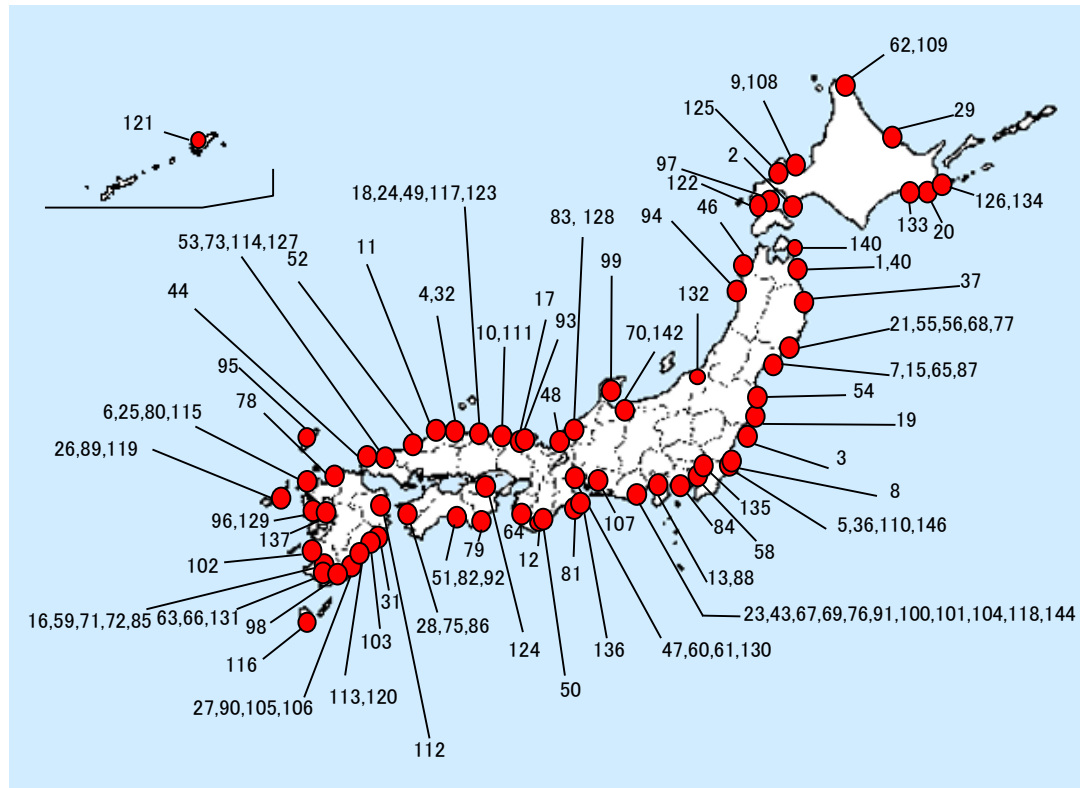
- 1 八戸(大中まき)：船団縮小(4隻→2隻)〈H20.4～H23.3 改革型〉
- 2 北海道機船(室蘭(沖底)：省コスト共通船型、操業協同化〈H20.9～H21.8・H21.9～H24.8 改革型〉
- 3 大津(大中まき)：船団縮小(4隻→3隻)〈H20.10～H23.9 改革型〉
- 4 賀露(沖底)：省エネ船型導入〈H20.9～H23.8 改革型〉
- 5 銚子(沖底)：小型化(74トン→19トン)、協業化〈H20.6～H23.5 改革型〉
- 6 遠旋組合①(大中まき)：船団縮小(5隻→4隻)〈H21.1～H24.1 改革型〉
- 7 石巻(大中まき)：単船化、省エネ省コスト化〈H21.8～H24.7 改革型〉
- 8 波崎(大中まき)：船団縮小(4隻→2隻)〈H21.8～H24.7 改革型〉[自己負担等により実施]
- 9 北海道機船(小樽(沖底)：生産体制の合理化〈H22.2～H25.1 改革型〉
- 10 香住(べにずわいがに)：常設活魚艙導入〈H20.9～H23.8 改革型〉
- 11 境港(べにずわいがに)：省エネ省コスト、高鮮度保持〈H21.9～H24.8 改革型〉
- 12 紀伊水道(中まき)：船団縮小(9隻→7隻)〈H21.7～H23.6 マイルト〉
- 13 静岡(大中まき)：船団縮小(6隻→5隻)〈H23.1～H25.1 改革型〉
- 15 塩釜(遠洋底びき)：新規漁場(インドネシア)開発〈H21.8～H22.2 マイルト〉[中止]
- 16 山川(海まき)：海外漁場(パプアニューギニア)の確保〈H21.11～H23.11 マイルト〉
- 17 柴山(沖底)：耐候性漁船、高品質水揚げ〈H21.9～H24.8・H22.9～H25.8 改革型〉
- 18 浜坂(沖底)：小型化(90トン→65トン)、省人化〈H21.9～H24.8 改革型〉
- 19 小名浜(大中まき)：船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統7隻)〈H21.10～H23.11 マイルト〉
- 20 北海道機船(釧路(沖底)：船内1次加工等による高付加価値化〈H22.9～H25.8 改革型〉
- 21 気仙沼(近海まぐろ延縄)：省エネ省コスト、高鮮度保持〈H22.8～H25.8・H22.10～H25.10 改革型〉
- 23 遠洋かつお一本釣り(焼津)：省エネ省コスト、高付加価値化〈H22.9～H24.8 マイルト〉
- 24 網代港(沖底)：省エネ、高鮮度保持〈H23.4～H26.3 改革型〉
- 25 遠旋組合②(大中まき)：2船団グループ操業化〈H23.4～H26.3 改革型〉
- 26 五島(中まき)：5船団でトータルコストの削減〈H23.4～H26.3 改革型、H22.6～H24.5 マイルト〉
- 27 近海かつお一本釣り(日南・南郷)：小型化(70トン→19トン)〈H23.4～H26.3 改革型〉
- 28 愛媛(真珠養殖)：越物真珠生産〈H22.11～H25.3 改革型〉
- 29 紋別(小底)：省エネ化、衛生管理〈H23.3～H26.2 改革型〉
- 31 北浦(中まき①)：6船団共同操業・共同運搬化〈H23.4～H26.3 改革型、H23.4～H25.3 マイルト〉
- 32 賀露(沖底②)：省エネ、船凍出荷〈H23.9～H26.8 改革型〉
- 36 銚子(沖底②)：小型化(74トン→19トン)、船首ブリッジ導入〈H24.6～H27.5 改革型〉
- 37 遠洋まぐろ延縄(宮古)：省エネ、脱血処理の徹底による高付加価値向上〈H24.5～H27.4 改革型〉
- 40 八戸(小底)：コスト削減、鮮度向上〈H27.3 改革型〉[取り下げ]
- 43 遠洋まぐろ延縄(焼津①)：省エネ、流通改善〈H24.4～H26.3 マイルト〉
- 44 下関(沖底)：小型化(75トン→69トン)、付加価値向上〈H24.4～H27.3 改革型〉
- 46 深浦(沖底)：省エネ・小型化(50トン→19トン)、衛生管理・付加価値向上等〈H25.9～H28.8 改革型〉
- 47 三重外湾(中まき)：船団縮小(6隻→4隻)、ウォーターバッグによる活魚輸送等〈H25.1～H28.1 改革型〉
- 48 舞鶴(大型定置)：操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等〈H25.1～H28.1 改革型〉
- 49 網代港(小型定置)：省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等〈H24.4～H27.3 改革型〉
- 50 遠洋まぐろ延縄(尾鷲)：小型化・省エネ、アルコールスラリーアイスの導入〈H24.6～H27.5 改革型〉
- 51 遠洋まぐろ延縄(高知)：既存船の省燃費型への改修、船上加工〈H24.4～H26.3 マイルト〉
- 52 浜田(沖底)：リシップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進〈H25.4～H27.3 マイルト〉
- 53 萩(小型いか釣り)：共同探索・運搬等による操業の効率化〈H24.6～H26.5 マイルト〉
- 54 遠洋まぐろ延縄(いわき)：省エネ、漁獲物処理の迅速化〈H25.7～H28.6 改革型〉
- 55 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②)：省エネ、EU衛生基準に対応した設備〈H25.7～H28.6 改革型〉
- 56 遠洋まぐろ延縄(気仙沼③)：省エネ型新船導入、高付加価値化〈H25.3～H28.2 改革型〉
- 58 遠洋まぐろ延縄(三崎)：船型の小型化、超深縄漁法の導入〈H25.8～H28.7 改革型〉
- 59 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野)：省エネ、次世代型冷凍システムの導入〈H25.9～H28.8 改革型〉
- 60 遠洋まぐろ延縄(伊勢)：省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入〈H26.2～H29.1 改革型〉
- 61 遠洋まぐろ延縄(南伊勢)：針数削減等による効率的操業の導入〈H25.4～H27.3 マイルト〉
- 62 北海道機船(稚内(沖底)：省エネ型漁船、活メ脱血処理等による高付加価値化〈H25.10～H28.10 改革型〉
- 63 枕崎(遠洋かつお一本釣り)：鯉節向けブライン鯉生産、燃油費削減〈H25.3～H26.3 マイルト〉
- 64 紀伊水道(中まき②)：2艘まきから1艘まきへの転換、船団縮小(9隻→7隻)〈H26.2～H29.2 改革型〉
- 65 北まき・石巻(大中まき/海まき)：単船操業、水揚数量の大幅削減〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 66 枕崎(海まき)：合併事業、ブライン操業、大目網の導入〈H25.3～H27.2 マイルト〉
- 67 遠洋まぐろ延縄(焼津②)：冷気自然循環システムの採用、燃油使用量の削減〈H26.3～H29.2 改革型〉
- 68 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④)：パトックフロー船型、省エネ航行、高品質化〈H26.5～H29.4 改革型〉
- 69 遠洋かつお一本釣り(焼津②)：B-1製品の製造、燃油削減〈H25.3～H27.3 マイルト〉
- 70 全国遠洋まぐろ(富山)：操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 71 鹿児島(カンパチ養殖)：国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化〈H25.4～H28.8 改革型〉
- 72 鹿児島(ブリ養殖)：国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船〈H25.3～H27.7 改革型〉
- 73 山口外海(小型定置)：新型網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等〈H25.12～H28.11 改革型〉
- 75 宇和島(中まき・小まき)：船団縮小(5隻→4隻)、生産コストの削減、活魚化率の向上〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 76 遠洋まぐろ延縄(焼津②)：メバチ・キハダロイン加工、ピンナガドレス加工等〈H25.10～H27.9 マイルト〉
- 77 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑤)：主機駆動発電システム、気仙沼全量水揚げ等〈H26.4～H29.3改革型〉
- 78 佐賀玄海(小型いか釣り)：ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等〈H26.6～H29.5 改革型〉
- 79 近海まぐろ延縄(高知)：省エネ、高鮮度、漁場変更(中南近海→南方)〈H25.10～H27.9 マイルト〉
- 80 遠旋組合③(大中まき)：船団縮小(5隻→4隻)、2層甲板、ブライン凍結〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 81 三重外湾(大中まき)：船団縮小(6隻→4.5隻)、活魚、窒素ナノバブル高鮮度化〈H26.5～H29.4 改革型〉
- 82 近海まぐろ延縄(高知②)：省エネ、新型魚倉、深縄、漁場変更〈H28.5～H31.4 改革型〉
- 83 福井(沖底)：省エネ、揚網方法の改善、活魚化〈H25.10～H28.9 改革型〉
- 84 真鶴(大型定置)：網設置位置の適正化、新設計網の導入〈H26.3～H29.2 改革型〉
- 85 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野②)：解凍硬直防止技術の確立、地元販売等〈H26.8～H29.7 改革型〉
- 86 下灘(真珠母貝養殖)：真珠母貝品種絞り込み、共同養殖、母貝大型化等〈H26.1～H28.12 改革型〉
- 87 遠洋かつお一本釣り(塩釜・焼津)：共同化、温度帯変更、塩釜基地等〈H25.12～H27.12 マイルト〉
- 88 静岡(中まき)：ミニ船団化、小型化、活魚生産等〈H26.8～H29.7 改革型〉
- 89 五島(中まき②)：会社統合、ミニ船団化、活魚生産等〈H26.1～H28.1 マイルト〉
- 90 近海まぐろ延縄(日南・南郷)：省人、小型化、漁場変更、活餌操業等〈H26.8～H29.7 改革型〉
- 91 海外まき網(海まき)：インド洋・太平洋の併用操業、改革型漁船2隻の連携、大型化等〈H27.4～H30.3 改革型〉
- 92 御置瀬(沖底)：小型化、省人化、直まき方式の採用等〈H28.9～R1.8改革型〉
- 93 竹野(大型定置)：単船揚網体制、箱網の改良、底建網の採用、活魚化等〈H26.5～H29.4 改革型〉
- 94 秋田(大型定置)：流木予防網、大型クラゲ対策網、高価格魚種選択漁獲網の導入等〈H27.3～H30.2 改革型〉
- 95 対馬市(小型いか釣り)：船凍品製造、LED集魚灯等〈H28.8～R1.7改革型〉
- 96 遠旋組合④(大中まき)：船団縮小(5隻→4隻)、主機関共通化等〈H27.4～H30.2改革型〉
- 97 八雲町オタゲイ養殖)：3年貝主体の生産構造への移行、養殖作業の共同化等〈H26.12～H31.2改革型〉

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業を終了した計画②— (令和2年4月1日現在)

- 98 鹿儿島(大型定置): 網の保守管理作業の軽減、漁獲物の販売方法の改善等<H27.8~H30.7改革型>
- 99 能都(大型定置): 1ヶ統一合理的2ヶ統操業、改革型金庫網、柔軟な出荷戦略等<H27.9~H30.9改革型>
- 100 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎): 599トン船での省コスト操業等<H27.10 改革型>[取り下げ]
- 101 遠洋まぐろ延縄(焼津③): 代替冷媒導入、冷凍機の稼働台数適正化等<H27.3~H29.2 マイルト>
- 102 串木野(遠洋まぐろ延縄): 経営体統合、既存船の大規模リニューアル<H27.9~H30.8 改革型、H27.9~H29.9 マイルト>
- 103 延岡(大型定置): 両落とし式定置網導入、活魚出荷等販路拡大<H27.10~H30.9改革型>
- 104 小川(さば棒受網): まき餌コスト削減、99トン型鋼船の導入、活魚・活処理等<H28.3~H31.2 改革型>
- 105 近海かつお一本釣り(日南・南郷②): 操業海域変更、海水水製造機の搭載等<H27.7~H30.6 改革型>
- 106 近海かつお一本釣り(日南・南郷③): 操業海域変更、低温活餌装置の搭載等<H28.2~H31.1 改革型>
- 107 蒲郡(沖底): 操業体制の見直しによる省人化、アカザエビ活魚化等<H27.9~H30.8 改革型>
- 108 北海道機船(小樽②)(沖底): LLPによる効率的な操業、省人化、漁具共有化等<H27.4~H30.3 多角化>
- 109 北海道機船(稚内②)(沖底): 操業対策委員会による操業、箱詰め割合向上等<H27.4~H30.3 多角化>
- 110 鏡子(沖底③): ハイブリッド型漁船での操業、殺菌水生成装置導入等<H28.9~R1.8改革型>
- 111 香住(沖底): 巻き返しによる漁具費削減、船上冷凍設備の導入等<H27.9~H30.8 改革型>
- 112 大分県(中まき): フィッシュポンプの網船への搭載、小型魚の蓄養等<H27.11~H30.11改革型>
- 113 川南(沿岸まぐろ延縄): 新たな経営体の確保、漁船の小型化等<H28.4~H31.3 改革型(沿岸漁業版)>
- 114 山口外海(パイ籠): パイ籠専業船の導入による船上作業の効率化等<H28.7~R1.6 改革型>
- 115 遠旋組合⑤(大中まき): 改革型漁船導入による船団縮小(5隻→4隻)等<H28.5~H31.4 改革型>
- 116 屋久島(瀬物一本釣り): 操業協業化による効率化等<H28.6~R1.5 改革型(沿岸漁業版)>
- 117 網代港(沖底②): 船上加工による6次産業化<H28.9~R1.8改革型>
- 118 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎): 599トン改革型漁船での省コスト操業、活処理血製造等<H27.12~H30.11 改革型>
- 119 五島定置(大型・小型): 仕切網による操業効率の向上と魚価向上<H28.4~H31.3 改革型>
- 120 近海まぐろ延縄(日向): メカジキトラップによる対象魚種の多様化、操業海域変更<H28.4~H31.3 改革型>
- 121 名瀬沿岸かつお一本釣り: 船団縮小、省エネ漁船導入によるコスト削減等<H28.8~R1.7 改革型>
- 122 ひやま(小型いか釣り): 新型漁撈機器の導入、高鮮度出荷、いか釣り専門化等<H28.5~R1.9 多角化>
- 123 境港②(べにずわいがに): 冷蔵機能倉庫、冷却水槽による高鮮度化、規格化等<H29.4~R2.3 改革型>
- 124 香川(海面ニジマス養殖): プリ養殖休漁期を活用したニジマス養殖、ブランド化等<H28.1~H30.5 改革型>
- 125 古宇郡(ホタテガイ養殖): 養殖施設を9基→33基に増設し生産体制の強化、販路拡大等<H28.6~R1.6 多角化>
- 126 根室湾中部(小型いか釣り): 1人乗り操業による高品質生産、LED集魚灯導入等<H28.8~R1.7 改革型>
- 127 山口外海(大型定置): 未利用漁場活用による生産力向上、村張りから法人化による経営体制強化等<H28.11~R1.10 改革型>
- 128 福井(大型定置): 出荷・販売ルートの開発による収益性向上等<H29.3~R2.2 改革型>
- 129 遠旋組合⑥(大中まき): 活魚輸送・畜養いけすによる漁獲物の有効利用、船団縮小(5隻→4隻)等<H29.1~R2.1 改革型>
- 130 遠洋かつお一本釣り(尾鷲): 499トン改革型漁船での省コスト操業、活餌イワシ生存率向上等<H29.3~R2.2 改革型>

- 131 枕崎(遠洋かつお一本釣り): 冷海水によるブライン鰹の安定供給、省エネ船型導入等<H29.3~R2.3 改革型>
- 132 上越(小底): 2人体制のニギスニ特化した操業モデル確立、僚船との協業化、選別機導入等<H29.4~R2.3 改革型(沿岸漁業版)>
- 133 厚岸(さば・いわし棒受網): 漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<H28.5~H30.7 多角化>
- 134 根室(さば・いわし棒受網): 漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<H28.5~H30.7 多角化>
- 135 全国さんま棒受網(公海さんま棒受網): 船上凍結製品の生産、ロシア加工船への洋上売魚等<H28.5~H30.7 多角化、H28.5~H29.7 マイルト>
- 136 三重県真珠養殖(真珠養殖): 低塩分養成技術の導入、作業船の共同化等<H28.6~H31.3 改革型>
- 137 長崎以西底曳(以西底びき網): 新型網導入による省エネ、キダイの販路拡大等<H28.10~H30.9 マイルト>
- 140 青森県大畑(小型定置): 改良型網の導入、省エネ型漁船の導入等による生産性の向上<H28.11~R1.10 改革型>
- 142 とやま市(大型定置): 改革型マント網の導入、ホタルイカの付加価値化、旧網利用による操業期間延長<H28.12~R1.12 改革型>
- 144 海外まき網(海まき②): VDの高度利用、共同運搬船の活用<H28.10~H29.9 マイルト>
- 146 神栖市沿岸漁業(小底): 改革型漁船の導入、消費地市場への自家出荷等<H29.3~R2.3 改革型(沿岸漁業版)>

(注4) 黒数字: 実証を終了した計画



実証事業終了 139件 (がんばる漁業への移行11件含む)